

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
観光学概論 Introduction to Tourism		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	観光ビジネス実務士必修	全学生、観光フィールドの学生対象
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ホテル業概論、観光ビジネス実務演習				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ホテル業概論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
伊藤 優子	授業中に指示します	水曜日、木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
観光産業は、多岐分野に影響を及ぼし、観光の持つ役割は極めて大きい。近年では、地域おこしの柱として観光関連産業が注目を浴びている。また観光立国宣言をした日本は、海外旅行の推進だけでなく、訪日外国人誘致も不可欠となってきた。観光学を基礎から学ぶ講義となる。				
授業の目標				
①観光とは何か、観光の意義を理解することができるようにする。②日本の観光の現状を把握することができるようにする。③観光の基礎を理解し、今後地域に貢献できるということをはにかいということを総合的に理解することができるようにする。				
授業の方法				
教員が作成したプリントを使用し、観光の基礎、観光産業、観光の現状を理解するために、講義形式で実施する。				
学習の成果（学習成果）				
①観光の意義や地域に与える影響を学生自らが学び、考えることができる。②日本の観光政策と将来の観光産業の必要性を学生自らが学び、考えることができる。③観光産業の経済効果や社会に与える影響を学生自らが学び、将来活躍する職場を学生自らが考え出すことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	観光とは何か 生活の中の観光			
第2回目	観光の様々な効果			
第3回目	観光に関わる言葉			
第4回目	観光のしくみ			
第5回目	観光資源と観光対象			
第6回目	観光産業の構成と特徴			

第7回目	様々な観光ビジネス—旅行業		
第8回目	様々な観光ビジネス—宿泊業		
第9回目	様々な観光ビジネス—交通運輸業		
第10回目	様々な観光ビジネス—テーマパーク、観光施設、スキー場、土産店		
第11回目	観光政策と観光行政		
第12回目	旅の歴史		
第13回目	様々なツーリズム		
第14回目	観光マーケティングの基本		
第15回目	観光全般のまとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	30%	授業に集中し、ノートをとっている。不明なことがあれば積極的に質問する。指名されたら自分の意見を述べるなどが評価の対象となる。S評価の基準：上記参加態度を全て満たす上位トップグループ。
	レポート		
	調査報告書		
	小テスト		
	試験	50%	観光の基礎を理解できているかを確認する(実施日時は、授業中に指示します)。S評価の基準：S=90-100
	発表内容（態度含む）	20%	適正かつ正確にテーマを捉え、資料等を活用し、理解の深さを確認する(実施日時は、授業中に指示します)。S評価の基準：与えられた学習課題を十分にまとめ上げ、明瞭な発表を行った上位トップグループ。
	その他		
教科書と参考図書			
プリントを使用			
履修上の留意点・ルール			
遅刻厳禁。私語はつつしむこと。授業途中で無断で退出厳禁。携帯電話使用禁止。飲食厳禁。			